平成 28 年度　ＦＤ活動報告

高等教育推進機構

１　ＦＤ活動の実施体制、取り組みの概要

・機構ＦＤ委員会が機構全体のＦＤ活動を実施するとともに、科目グループごとに教育改善のための話し合いと実践を行っている。

・本年度は、AP 事業によるセミナー・ワークショップ等が多く開催される予定であったため、機構独自のＦＤセミナーは実施しなかったが、AP 事業による FD 企画に多数の機構所属教員が参加した。

２　ピア授業参観実施状況

期間	公開授業数	参観者数	特記事項
前期	9	10	・機構長教育奨励賞受賞者に授業公開を依頼し、積極的に案内した。
後期	7	9	
年度合計	16	19	

３　ＦＤに関する講演会、セミナー、ワークショップの開催状況

開催日	内容（タイトル等）	種別	参加者数
11 月 10 日	初年次ゼミナール報告会（高等教育推進機構主催）	報告会	26
4 月、12 月、3 月	（英語分野）Information briefing sessions for Part-time Staff	意見交換会	約 20×3 回

４　ＦＤに関する会議、委員会の開催状況

会議・委員会名	内容	回数	委員数
機構ＦＤ委員会	機構全体の FD 活動を企画、実施	8	8
初修外国語グループ定期会議	FD に関する情報交換と議論	7	7
健康･スポーツ担当者会議	授業展開、採点基準、学生対応について協議、積極的な FD 活動の促進	3	9
数学･専門基礎科目ミーティング	授業の進め方、成績評価の仕方、試験内容などの話し合い	2	23

５　その他取り組みの具体的実施状況

・高等教育推進機構で開設している全科目を対象として、ポートフォリオ（授業ふり返り）データを基に、優れた授業を実践している 12 名の先生方を選出して機構長教育奨励賞を授与した。学生の学びと理解を促しているかどうかを判断材料に加えることにより、学生の満足度に偏らないような選考方法とした。

・機構開設科目の GPC について、科目グループごとに検証作業を行い、機構ＦＤ委員会で報告した。

《科目グループによる活動》

＜教養＞

・教養科目グループの６人の教員が中心となって、教養科目「近代を問う」（水４後期、テーマ「流動・移動」）を共同運営した。

・初年次ゼミナール報告会および次年度説明会（11 月 10 日）を開催した。

＜英語＞

1. A graduate-level English Academic Writing course was offered in semester one to graduate students and junior researchers with the aim of improving their advanced research writing skills in English
2. Implementation of TOEIC testing for first- and second-year students; Data was collected and student performance was monitored.
3. In addition to the regular curriculum a TOEIC test preparation course was held.
4. Information briefing sessions for Part-time Staff were held in March, April and December to exchange ideas and improve teaching practices through discussions about what is being taught in classes and how English is taught.
5. Extracurricular classes in English Conversation were offered for students in Semester Two as part of the "The English Café" program.
6. A range of seminar courses in academic writing, advanced academic reading, presentation, media English, intercultural communication and exam practice for English Proficiency Tests were offered to further improve students' English ability.
7. Pre-departure Orientation courses were offered for students attending intensive English Language Study Abroad Programs in the USA, UK and Australia. Study Abroad Guides were produced for the programs at Monash College, Australia, University of California Irvine in the USA, School for English Studies in Folkestone, UK as well as for students participating in the year-long exchange program at the University of Technology, Sydney. Research is on-going into maximizing the experience overseas for students participating in these programs. Post-return Events were conducted for students returning from the UK and the USA.

＜初修外国語＞

H28 年度の初修外国語 FD の目標は３つあった。授業改善、授業時間外学習時間増、教員教育能力向上。これらの目標を達成するために、次のことが実施された。

<u>授業改善</u>

・授業で使用されている教材のリニューアル［独・仏・中・韓］

・ICT を中心にした教材使用：音声ファイル付き独自教材、iPad（音声入力アプリ、動画作成）スマートフォン［中］

<u>授業時間外学習時間増</u>

*予習・復習のための課題のリニューアル[独・仏・中・韓]
*授業支援システムを利用して自習用教材を配付［中］
*海外語学研修期間の増加(1 週間から 2 週間に)[韓]
*フランス語暗唱大会参加者・韓国語弁論大会参加者へのサポート[仏・韓]
*留学生との交流[韓]
*他大学のフランス語学習者との交流[仏]
*各言語の検定試験の支援［独・仏・中・韓］

教員教育能力向上

*初修外国語グループの定期会議で FD に関する情報交換と議論［独・仏・中・韓］
*FD セミナーに参加［独・仏・中・韓］
*国際シンポジウムにおいて授業実践方法、語学研修報告書の改善など様々なテーマで発表、*国内シンポジウム・国内教育研究会に参加［仏］
*「ヨーロッパ言語共通参照枠」に基づいた、学習者の言語能力レベル判定のための研修に参加・資格の更新［仏］
*2016PC カンファレンス（大阪大学豊中キャンパス、2016 年 8 月 10 日～12 日）のイブニング・セッションにおいて、「外国語教員のための EPUB（電子書籍）作成講座 Part2」を開催、資料を公開［中］(http://qingyuan.sakura.ne.jp/wp/?p=2716)
また初修外国語グールプの各教員は学生に対し、各科目に関する情報量を増やし、サポートを強化：
*新入生に対する初修外国語概要とカリキュラム説明パンフレットのリニューアル［独・仏・中・韓］
*中級クラスを紹介するビラを配付［独・仏・中・韓］
*海外語学研修に関する説明会の開催[仏・韓]
*各言語の検定試験の紹介［独・仏・中・韓］

＜健康・スポーツ科学＞

1）健康・スポーツ科学概論、教養科目、教養展開科目の講義科目については、受講生が生涯にわたる健康に関する知識や実践力を獲得できるよう、各教員が個々の専門領域を中心として講義を行った。また課題の提示などで「授業外学習」を促進するよう働きかけを行った。
2）健康・スポーツ科学演習科目は、受講生からの要望に対応した授業展開、設備・教材などの整備を行った。その結果、充実した授業展開ができ、受講生からも高い評価を受けた。テニスコート、野球場、フットサルコートの整地整備を実施し、安全な授業の展開に努めた。これらのことから、安全な演習の実施と雨天時の施設利用が可能となり、十分に授業目標を達成できることとなった。
3）担当者会議（3 回：4 月 1 日、12 月 12 日、3 月 22 日）の中で、授業展開、採点基準、学生対応について協議し、積極的な FD 活動の促進を行った。
４）平成 28 年度機構プロジェクト型研究として『新システムによる視覚機能の総合的測定及び

トレーニングとその評価』を行った。受講者に身体運動と視機能との関連を理解させるとともに自身の視機能レベルを把握させることで、科学的理解を深めることができた。
＜理科＞ ［SEL 教室］引き続き接続教育教材の周知と提供をおこなった。 ［科目運営、成績評価］ ・担当教員の変更に伴い、学類を分割し複数のクラスで複数の教員が担当実施する科目について、教員間で情報を共有し、授業実施の調整をおこなった。 ・成績評価について教員間で情報を共有、協議しつつ成績評価を行ない評価の公平性を確保した。 ・学修に困難を抱える学生について、アクセスセンターの協力を得ながら、担当教員間で情報を共有して、対処をおこなった。 ［学生実験］ ・引き続き、パーソナルコンピュータやタブレット端末で提供する教材の開発・改良をおこなった。 ・実験の実施・運営方法について若干の改善を行なった。
＜数学＞ ・専門基礎科目ミーティングを実施し、授業の進め方、成績評価の仕方、試験内容などについて話し合った。 ・数学質問受付室を設けた。 ・微積分学の演習書が完成した。平成 29 年 4 月に出版される予定である。

H29 年度の活動計画　　高等教育推進機構

1. FD 委員会活動

(1) ピア授業参観

今年度も、ピア授業参観の促進期間を設け、教員が参観しやすい環境を整えていく。機構長奨励賞受賞者に授業公開をお願いし、オススメ授業として授業参観を呼びかける。

(2) 機構 FD セミナーの開催

今年度は２回程度、セミナー、ワークショップを開催する。ただし、全学のＦＤ行事、ＡＰ事業との連携、共催も検討する。

(3) 機構長教育奨励賞の授与

機構長教育奨励賞の選考を行う。授業振り返り（ポートフォリオ）項目の変更を受け、選考方法の修正が必要となる。

(4) 授業時間外学習の増加について

学生調査データ、ポートフォリオデータの分析を行い、授業時間外学習時間を増やすための方策について検討を行う。さらに、学域制 4 年間の教育活動と学習状況を点検し、課題の抽出、対策の検討を行っていく。

2. 科目グループにおける活動

＜教養＞

・教養科目グループの教員が中心となって、教養科目「近代を問う」(水４後期、テーマ「流動・移動」)を共同運営する。

・ＡＰ事業と共同で、大人数講義に関するＦＤ企画を実施する。

＜英語＞

1. Implementing TOEIC testing for first year students; collecting data and monitoring student performance
2. Re-offering the graduate-level English Academic Writing course in semester one 2017 to graduate students and junior researchers
3. Extending the English Café program to semester one
4. Extending the number of classrooms available for the delivery of extracurricular classes in CALL (Computer Assisted Language Learning) to five
5. Designing and implementing extracurricular programs using CALL facilities in order to study for English Proficiency tests and to improve students' practical English language skills and pronunciation
6. Scheduling of information briefing sessions for Part-time Staff in March, April and December to improve teaching practice
7. Promoting student participation in two English Language Study Abroad Courses together with work on producing an online course Pre-departure Orientation course to help maximize students'

learning experience overseas

＜初修外国語＞

H28 年度につづいて、初修外国語グループの定期会議で FD に関する情報の交換と議論を行う。
H29 年度も授業改善、授業時間外学習時間増、教員教育能力向上を初修外国語 FD の目標とする。

＜健康・スポーツ科学＞

1) 平成 28 年度までの FD 活動を継続するとともに、FD セミナーなどへの積極的な参加により、FD に対する意識づけとさらなる拡充を目指す。
2) 教養科目、演習科目等における「学生の授業振り返り（授業アンケート)」の活用や、ピア授業参観の実施など通して、双方型授業の展開と PDCA による継続的改善を運用していく。また授業アンケートの回答数が少ない授業については、回答を促すような働きかけを行っていく。
3) 体育教育施設の整備、教材の精選などを適宜行い、さらなる授業の質的向上を目指し、学生満足度の高い効果的な授業の展開を行う。
4) これまで実施してきた機構プロジェクト型研究の成果を各授業に適用することで、学生の知的好奇心の充足を図り、さらに魅力ある授業の展開を目指す。
5) 大阪市立大学との統合を見据え、授業内容や評価基準などについて情報の共有を行う。

＜理科＞

[SEL 教室] 引き続き、接続教育教材を提供する。
[科目運営、成績評価]
・定期的、或いは必要に応じて担当教員間の情報交換をおこない、授業を実施する。
・引き続き、成績評価について教員間で情報を共有、協議しつつ成績評価を行ない、評価の公平性を確保する。
・学生の学習動向の情報を共有し、学生の自主的・自律的な学習を促す取り組みをさらに進める。
[学生実験]
・引き続き、教材開発を行い、教育効果を高める。
・労働安全衛生法改正に伴うリスクアセスメントの義務化に対応し、教育内容の改定をおこなう。

＜数学＞

・専門基礎科目ミーティングを実施し、授業の進め方、成績評価の仕方、試験内容などについて話し合う。
・数学質問受付室を設ける。
・微積分学の演習書が完成した。平成 29 年 4 月に出版される予定である。
ただし、初回の講義には間に合わない可能性があるので、その分については印刷物を配付することで対応する。